

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要							
事業開始年度 平成6年度							
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり	根拠法令・例規等	道路法・離島振興法		
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり		問	担当課(室)	架橋建設室
	小項目	施策	11 道路		合	職・氏名	室長補佐 瀬本安志
事務事業名			09 日生架橋建設事業	先	電話	0869-72-1259	
					このシート作成に要した時間	7.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市民・観光客等
目的(何のために)	離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化、観光資源の活用、交流人口の増による地域振興を図る
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化、観光資源の活用、交流人口の増による地域振興を図る

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	測量調査設計事業	日生頭島線の新設に伴う測量、各種調査、道路、橋梁設計	◎
	日生頭島線新設工事	日生頭島線の道路、橋梁、関連工事	◎
	日生頭島線事務	各種許認可、用地買収、補償交渉、国庫補助事業等に伴う事務	◎

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	189,783	335,156	196,241
	必要人員人件費	千円	2.21人	16,215	2.04人
	事業費計	千円	205,998	351,122	221,399
	国県支出金	千円	127,590	221,800	122,360
	受益者負担金	千円			
	繰入金債	千円	71,500	107,400	70,500
その他()					
一般財源		6,908	21,922	28,539	
受益者負担比率	%				
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	結果指標量	事業	1	1	1
	対前年比	%		100.0%	100.0%
	活動コスト	円	205,998,000	351,122,000	221,399,000
	単位当たりコスト	円	205,998,000	351,122,000	221,399,000

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
事業進捗率	目標値(A)	7.1	9.4	10.8	26.8
	実績値(B)	3.4	7.7	9.8	到達目標値
	達成率(B/A)	47.89%	81.91%	90.74%	100
成果指標設定の考え方・式や説明					
進捗事業費/計画総事業費					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> B
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> B

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	22年度は本土~鹿久居島を結ぶ日生大橋(仮称)の建設工事に着手する					

総合評価	
事業費の削減を図りつつ、事業を推進する	評価区分 <A~E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	平成26年度の完成を目指し事業を進めていく					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその効性の数値目標を評価する際は、留意事項を参考にしてください